

スライ

ドNO <http://www.cooperativepatentclassification.org/publications/WorkshopMarchVienna.pdf>

1	外部利用者のためのCPCワークショップ
2	内容 紹介と背景 CPC分類体系 CPCを用いた検索 CPC改正 CPC分類のプロパティ(属性)及びサービス CPCの定義 CPCコード割り当て基準 CPCデータベース CPC品質保証 CPC導入のスケジュール FAQ
3	紹介と背景 CPC以前
4	CPC以前 ・国際特許分類(IPC) ・国際的に広く認知されている標準的分類 ・ストラスブール条約(合意): 条約加盟国は自国の特許文献にIPCを付与して発行する義務がある。 ・IPC(7万細項目)は大規模庁のニーズ(細項目の数、柔軟性、機動性)に対し不十分である。
5	CPC以前(続き) ・IPCの代替物としていくつかの国内分類が存在する。 ⇒EPOのECLA/ICO、JPOのFI・Fターム、USPTOのUSPC ・しかしいずれも理想的なものではない。

6	<p>CPC以前(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各特許庁とユーザコミュニティは万人のニーズを満たすグローバルな分類システムを作ろうと努力している。 ・2000年には3極のECLA、USPC、FIをIPCへ統合する協調プロジェクトを発足させた。 ・2006年にはIPCを改訂した。 ・2008年、3極協力を拡大する形で5大庁CHC(Common Hybrid Classification)創設プロジェクトを発足させた。 ・しかし、より早期にグローバルな分類体系を完成させる必要がある。
7	<p>CPC前の時代－IPC、ECLA、USPC、FIを、作成国、言語、細項目数、記号のフォーマット、付与文献の範囲で比較</p>
8	<p>プロジェクト開始</p> <p>USPTOとEPOは、当面はIPCベースのECLAに基づき、共通分類の構築のため協力することに合意した。(2010年10月)</p> <p>USPTOはUSPCからCPCへ移行する。</p> <p>EPOはECLAからCPCへ移行する。</p> <p>CPCは2013年1月までにEPOとUSPTOの双方にて使用する計画である。</p>
9	<p>CPC分類体系(その外観)</p>
10	<p>CPC分類体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPCは、1つの分類体系で、以下の全てを含む。 ・現ECLA(14万項目) ・現ICO(EPOのインデクシングコード) ・ECLA又はICOに反映された最重要キーワード(EPO管理のキーワード) ・ビジネス方法の分類コードG06Qは、現USPCのサブクラス705を組み込んだ形に改良して導入。 ・アメリカのspecial collectionsとdigests(ダイジェスト分類) ・ICOのYセクション <p>全体で20万細項目以上となる。</p>
11	<p>CPC分類体系(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPCは、まずはECLAをベースに、IPCとの整合性をより高める形で構築する。 ・CPCは、EPOとUSPTOそれぞれの分類における最良の部分を盛り込んだ新たな特徴を備える。 ・ECLAとICOの各コードは、階層関係(ドットの数)も含めCPCにてそのまま再現される。 ・CPCは、IPCの記号の用法(表記法)をそのまま引き継ぐ。(発明情報と付加情報)

12	<p>CPC分類体系(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類記号はIPCに似たものになる。 —CPCはECLA/ICOの「/」以降の英数部分を数字に変え、この部分を最大6ケタの数字で指定可能とする。 ECLA/ICOコードの変換のための特別なアルゴリズムが必要(後述) ・分類体系をサポートするものとして各分類の定義も提供する。
13	<p>ICOについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPOにおいてICOは多様な形で使われている。 ・ECLA/ICOでは、きわめて限定的な範囲が表現される。 ・CPCでは、より標準的に使用できるようなものとする。
14	<p>CPCコード;IPCと類似 階層構造上最も近いIPCコードは全ての下層分類コード中に残される:関連IPCコードの最後の桁まで維持</p>
15	<p>ECLA/ICOからCPCへのコード変換方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの分類体系(IPC、ECLA、ICO)を3つの層としてとらえる。 ・3つの層を一つの分類体系に統合する。 ・新コード付与 ・スペースは日本特許庁のFIを許容すべく残される。
16	<p>CPCコード変換方法(1) IPCの細項目をCPCに含める。</p>
17	<p>CPCコード変換方法(2) ECLAの細項目をCPCに含める</p>
18	<p>CPCコード変換方法(3) ECLAと同一(細分化)のICO細項目はCPCを含める。 ICOのTセクションのシンボルはECLAのHセクションのシンボルに置き換える。 つまり、ICOの「T」を「H」に置き換え、「T01L21/285」は「H01L21/285」と表記する。</p>
19	<p>CPCコード変換方法(4) ・IPCの「/」の後の部分も残される。IPCコードは最後の桁まで保持したまま、さらなる細分化が行われる。</p>
20	<p>CPCコード変換方法(5) (分類が)直交する(orthogonal)ICOコード⇒2000シリーズ 図有</p>

21	CPCコード変換方法(6) キーワード⇒CPC2000シリーズ 図有
22	変換後のCPC分類体系 図有
23	EPOQUEとEpoqueNetにおけるCPC CPCを使った先行技術調査
24	CPCコードによる検索 ・現在、EPOQUEではフィールドコード/EC、/ICO、/ECNOを使ったサーチが可能。 ・将来的には、「発明情報」、「付加情報」のフィールドもEPOQUEで利用可能となる。
25	CPCコードによる検索(2)表あり
26	CPC改訂のプロセス 分類体系の改訂と文献への(遡及)再付与
27	CPC改訂 ・IPCの改訂プロセスと同様、USPTOとEPOは以下のようにCPC改訂を行う。 ー改訂が必要な分類範囲の特定(要望に基づく) ー必要となるリソースの評価 ー改訂プロジェクト実施の可否について共同で判断 ー複数年にわたる改訂計画にプロジェクトを組み込む ープロジェクトが(遡及)再付与段階に入った際は、再付与に必要なリソースを按分 原則50%ずつ 必要に応じ異なる配分も可とする ・「メンテナンス」型のように大きな資源を必要としない場合、スピードレーン(手続きの省略)を活用

28	<p>CPC改訂(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの試験的プロジェクトを以下の分類を対象に実施中。 H03M3/00: コーディング技法におけるDelta/Sigma変調 B60W20/00: ハイブリッド車の運動制御 ・ビジネスモデル特許 (USPC705、ECLA G06Q) : は個別に対応され、ほぼ完了。 ー新しいG06Q分類は従前のUSPCサブクラス705を含む。 ECLA/IPCで現在利用可能な細項目数50種に対し、約375の細項目を保有 ・双方のコミュニケーションのため協調環境を利用。
29	<p>CPCの定義 CPC分類項目の技術範囲を理解するために</p>
30	<p>CPC定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPC分類体系の利用をサポートするため、個々の技術範囲をどのように検索し分類するかに関する説明書が用意される。 ・CPCはIPCの定義書の系統に沿ってデザインされている。 ・完全なCPCの定義書は(順次)公開され、最終的には以下をカバーする。すべてのサブクラス、すべてのメイングループ、そしていくつかのサブグループ ・F16Lの例を参照のこと(リンク有)
31	<p>CPC分類のプロパティ(属性)及びサービスー分類の活用を支援</p>
32	<p>CPC分類のプロパティ(属性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPCは分類記号の使用法において、IPCに準じている。 ・細分化型 (breakdown) 及びオーソゴナル型のICOに基づくCPC分類コードは、「付加情報」としてのみ付与可能とされる。 ・属性は分類コードの用途と制限を示すテーブルに表示される。
33	<p>CPC分類関連のサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPC分類のサポートとして各種サービスの洗い出しを実施中。 ・我々が本当に必要なサービスが何であり、そのうちのどれを外部ユーザにも提供すべきかについて、引き続き協議中。

34	<p>CPC分類関連のサービス2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの初期案 ECLA/ICOとCPCのコンコードダンス(マッピング) CPCとIPCのコンコードダンス(マッピング) 分類コードの属性 例、「付加情報」としてのみ有効な分類記号 分類コードの妥当性確認 分類変更の表示 バージョン管理
35	<p>CPCコード割り当て基準</p> <p>CPC割り当ての基準はWIPOスタンダード8に基づき、そして完全な互換性を有する。</p>
36	<p>CPCコード割り当て基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPC基準は、分類コードの割り当ての記録及び変換に用いられる。 ・WIPOST.8 (IPCのみに適用されているもの)を若干修正したものとなる。 ・WIPOST.8との完全な互換性を有する。
37	<p>WIPOST.8に基づくCPCコード割り当て基準</p> <p>位置 内容 値</p> <p>1 Section セクション A, ..., H</p> <p>2,3 Class クラス 01, ..., 99</p> <p>4 Subclass サブクラス A, ..., Z</p> <p>5 to 8 Main Group (right aligned) メイングループ(右揃え) 1, ..., 9999, blank</p> <p>9 分離記号 / ("Slash") / ("スラッシュ")</p> <p>10 to 15 Subgroup (left aligned) サブグループ(左揃え) 00, ..., 999999, blank</p> <p>16 to 19 For future use 将来の使用のために 4つの空白</p> <p>20から27 Version indicator バージョン情報 YYYYMMDDの日付形式</p> <p>28 Classification level 分類レベル C,A,S</p> <p>29 First or later position of symbol 分類コードの位置(筆頭かそれ以外) F,L</p> <p>30 Classification value (発明情報または付加情報) I,N</p> <p>31 to 38 Action date 分類付与日付YYYYMMDDの日付形式</p> <p>39 Original or reclassified data オリジナル/再分類の区別 B,R,V,D</p> <p>40 Source of classification data 分類データのソース(人手付与または機械付与など) H,M,G</p> <p>41-42 Generating office 付与特許庁の国コード AA, ..., ZZ (ST.3)</p> <p>43-50 For future use 将来の使用のために 8空白</p>

38	<p>CPCコード割り当て基準(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ケタ目 A~HのほかYを追加する必要あり ・28ケタ目 CPCに関係しないのでblankとする。 ・40ケタ目 他の値が追加される可能性あり、例「コンコードダンスに基づく」ものとして「C」
39	CPCデータベース(CPC-DB)
40	<p>CPCデータベース(CPC-DB)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要求事項 両国庁それぞれにおける操作の独立性を維持すること。 CPCコード割り当てが定期的に更新されること。 ・解決策 データ同期化を利用した「2重マスター」データベース
41	<p>CPCデータベース(CPC-DB)(2)</p> <p>データ同期化を利用した「2重マスター」データベース CPC-DBはCPC分類データの原本となる。</p>
42	<p>CPCデータベース(CPC-DB)(3)</p> <p>「協調環境」は、コミュニケーション目的に加え、文書の共有や分類改訂プロジェクトの作業のためにも利用される。</p>
43	<p>CPCの品質保証(QA)</p> <p>うまくいっていることも、もっとうまくできる可能性がある</p>
44	<p>CPCの品質保証(QA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USPTOとEPOそれぞれの分類の実用をより良くハーモナイズするために、特別な品質保証プロセスが計画されている。 ・3つのシチュエーション EPOとUSPTOで、アメリカの文献を共同で分類する(2013年-201X年) EPOによるアメリカの文献の分類を終了する(201X年以降) 改正の過程における文献の再分類(2013年以降)

45	<p>CPCの品質保証(QA)(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術分野ごとにEPOとUSPTOの間の連絡窓口を設置 ・フィードバックの仕組みを構築 <ul style="list-style-type: none"> 不適合の表示のための「Raise Hand(挙手)」フラグ 分類結果のサンプルバッチのチェック ISO2859標準に基づく ・チェック、不適合の発見、それらの修正、連絡窓口へのフィードバック送付、そして内容の記録 ・データの監視と分析 ・是正措置の実施 ・コミュニケーションには協調環境を活用
46	<p>CPC導入のスケジュール 今後の道程</p>
47	<p>CPCへの移行のためこの先重要となる行動</p> <p>2011年1月～2012年1月(プロジェクト開始、EPOとUSPTO間での議論)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングの開発 ・分類付与基準(CPC定義書) ・ECLAの維持管理 ・ITの設計 ・協調環境の設計 <p>2012年1月～202013年1月(CPC初版バージョンは2012年10月発効)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングの実施 ・USPTOとEPOにおけるITの実装 ・協同環境 ・2012年10月1日CPC分類体系初版バージョン公開 ・2012年11月15日DOCDB過去分ファイルの変換 ・CPC開始のための準備 <p>2013年1月(CPC開始)</p> <p>2013年4月(CPC改訂箇所のECLAへの反映を停止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質保証プロセスの実施 ・EPOとUSPTOによるCPCの使用 ・分類の運用のハーモナイズ ・共同でのCPC改訂 ・他国庁にてCPCの利用可能

48	<p>EPOと利害関係者におけるCPCのインパクト(表より以下のことが読み取れる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物特許とデザイン特許については、2015年以降もUSPCが使われる。 ・EPO審査官とEpoqueNet userは2013以降一定期間はECLAとCPCを併用するが、移行期間以降はCPCに完全移行する。 ・espacenetユーザと商用ベンダー及び他の外部利用者は2013以降完全にCPCに移行する。 ・USPTOの契約者と審査官は、2013年以降一定期間はUSPCとCPCを併用するし、移行期間はUSPC及びまたはCPCを利用し、2015年以降完全にCPCに移行する。 <p>2013年4月1日以降:改訂はCPCのみとする⇒ECLAはこれ以降、改訂箇所では信頼性を失う</p>
49	質問と回答
50	<p>CPCのFAQ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPCは2庁の特許法を変えますか？ <p>⇒いいえ。CPCはあくまでも分類システムであり、ECLAをベースとし、そこにUSPCの最良の部分を組み込んだものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPCについて勉強するための助力を得られますか？ <p>⇒はい。EPアカデミーは、ヴァーチャルクラスルーム(VCL)とともに、e-ラーニングに基づく、コンピュータベースのトレーニング(CBT)を設計中です。また、CPC定義は公開されます。</p>
51	<p>CPCのFAQ(2)</p> <p>ECLAと比してCPCはどのような改良がなされていますか？</p> <p>⇒ECLA14万項目に対し、CPCは20万項目、従前のEPOの索引コードとキーワードが可視、CPC定義書、分類関連サービス、G06Q(ビジネス方法の特許)が従前のUSPC705を含むこと、特別なUSのクロスリファレンスコレクションとダイジェストコレクション、その他</p>
52	<p>CPCのFAQ(3)</p> <p>CPC分類コードは(／以降が)数字になりますが、検索においてトランケーション記号は引き続き使えますか？</p> <p>⇒いいえ。トランケーション記号(*や+)を用いた検索で得られる結果は、これまでとは異なるものとなる可能性があります。これまでと同じ結果を得るためには、特定のCPCと、その下位のすべての細項目を検索式に含める必要があります。EpoqueNetの利用者は代わりに「／low」というオペレータが使えます。例「H01L21/027/low」とすれば、H01L21/027の下位分類である「H01L21/033」も検索されます。</p>
53	おわり